



悠々と400年

市指定天然記念物

桃木峠の大杉 (大野市阪谷・五箇地区)

おおの 議会だより

主な内容

6月定例会の概要 2 ページ

一般質問 3~7 ページ

6月定例会審議結果 8 ページ

常任委員会審査 9 ページ

各委員長報告 10 ページ

No.164 平成21年7月25日

発行：大野市議会
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
TEL0779-66-1111 FAX0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

6月定例会市議会の概要

第三六三回定例会市議会は、六月八日から二十四日までの十七日間の会期で開催されました。
 今定例会では、二十一年度一般会計補正予算案をはじめとする七議案を審議しました。そのほかに、議員提出の市会案三件、請願一件、陳情二件についても審議しました。

主な議案

条例

○大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（議案第五十号）

（主な内容）

地方税法の一部改正に伴い所要の改正がなされました。改正の主な内容は、介護納付金課税額の限度額が、九万円から十万円に引き上げられたことなどです。

○大野市農村公園設置条例の一部を改正する条例（議案第五十二号）

（主な内容）

市農村公園のうち、上大納農村公園が廃止されます。これにより、市農村公園は、下山農村公園の一カ所となります。

○大野市税賦課徴収条例及び大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例（議案第四十九号）

（主な内容）

地方税法の一部改正に伴い所要の改正がなされました。改正の主な内容は次のとおりです。

- 一 市民税関係
 - （一）個人市民税における住宅取得借入金等特別税額控除（住宅ローン特別控除）の創設 ※平成二十一年～二十五年入居者対象
 - （二）公的年金等からの個人住民税特別徴収に係る所要の改正
- 二 固定資産税関係
 - （一）長期優良住宅（二百年住宅）に係る特別措置の創設 ※平成二十一年六月四日から五年間（税額二分の一）
 - （二）社会医療法人が救急医療等確保事業の用に供する固定資産および医療関係者の養成所において教育の用に供する固定資産にかかる非課税措置の創設

○大野市中山間地域農村活性化施設設置条例（議案第四十八号）

（主な内容）

本年三月二十五日付けで、県から無償譲渡を受けた「中山間地域農村活性化施設（スタールランドさかだ）」の設置および管理に関する条例が制定されました。



予算

▼二十一年度一般会計補正予算（第二号）（議案第四十六号）

主な内容としては、「（仮称）越前大野城築城四三〇年祭」事業を実施するための計画策定経費、「越前おおのの食文化の祭典」の開催経費、「橋梁の長寿命化修繕計画の策定経費」、「環境エ

ネルギー教育支援事業などの実施経費」、「庁舎建設基金への積立金」などで、一億四千四百九十二万八千円が追加され、予算の累計が百六十一億六千九百九十八万七千円となりました。

▼二十一年度一般会計補正予算（第三号）（議案第五十一号）

先に成立した国の二十一年度補正予算に計上されました地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用する補正予算で、十六日に追加上程されました。

主な内容としては、「小中学校教員の公務用パソコンの整備」「エキサイト広場体育館およびまちなか交流センター多目的ホール空調設備工事」「新堀川水門改修工事」「市内公共施設トイレの洋式化改修経費」「商店街の常夜灯等の省エネタイプ交換に対する補助」「おおの城ま

つり用御製作補助」「和泉地区の老朽化施設の解体撤去」「コミュニティ拠点施設（集会所等）の改修・備品購入」などで、五億九千六百六十九万九千円が追加され、予算の累計が百六十六億千六百六十五万六千円となりました。

▼二十年度一般会計補正予算（第七号）（議案第四十七号）

今回の補正は、国からの特別交付税等の額が確定したことに伴い、所要の補正措置が行われたものです。これにより、本市の平成二十年度一般会計予算が確定しました。

平成20年度 一般会計予算（確定）	
今回補正額	5,474万円
累計予算額	176億4,835万2,000円

審議日程

- 8日 本会議（会期の決定、議案上程・提案理由の説明）
- 9日～14日 休会
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問、追加議案上程、請願・陳情上程、各案件委員会付託）
- 17日 常任委員会（産経建設）
- 18日 常任委員会（民生環境）
- 19日 常任委員会（総務文教）
- 20日～21日 休会
- 22日 特別委員会（中部縦貫自動車道・国道158号整備促進、議会等改革）
- 23日 休会
- 24日 常任委員会（総務文教）
本会議（各委員長報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告、市会案上程・採決）



一般質問
前田 政美 議員
(新国会)

雇用対策について

質問 雇用対策の具体的取り組みは。

答弁 国の雇用調整助成金制度の拡充による雇用維持対策や、ふるさと雇用再生特別基金事業などの緊急雇用対策に加え、本市として、より効果的な雇用創出が図られるよう、国の地域雇用創造推進事業を活用した雇用創出に取り組む。

質問 地域雇用創造推進事業では、幅広い分野で求められる人材に対し、どのような研修を行うのか。

答弁 大きく分けて、雇用拡大メニュー・人材育成メニュー・就職促進メニューの三つの事業を行い、各分野において必要とする知識や能力、技能を身につけ、おのおのスキルアップを図るための研修が主となっている。

質問 各種産業振興の具体的な施策は。

答弁 経営革新や農工商連携事業、元気チャレンジ企業支援事業、商店街空地空家活性化対策事業などにより、事業規模の拡大や新分野への進出等を促進し、人材育成と産業振興施策とを有機的に結び付けることが必要である。

特定健康検診、特定保健指導について

質問 平成二十年度の特定健診、特定保健指導の実績はどうだったのか。

答弁 二十年度の目標値は両方共に三五割と定めていたが、二十一年三月三十一日現在、対象となる四十歳から七十四歳までの受診率は三五・四割となっており、県内九市ではトップである。

質問 今年度の特定健診の実施回数や目標達成への対応は。

答弁 実施回数は年間五十四回、三十二日を計画している。今年度の受診率の目標を四〇割としたが、目標達成のため、あらゆる機会で開催を行うとともに日程を受診しやすい休日に設置したり、未受診者に対し再度通知するなど受診率アップに向け努力している。

住宅用火災警報器の設置状況について

質問 二十三年五月三十一日の設置期限内に向けての啓発活動状況は。

答弁 本年一月には各地区への説明会はすべて終えているが、その後も機会あるごとに継続的に実施しているし、本市のホームページや市報へ掲載し、街頭広報や救急講習会、介護予防教室等あらゆる機会を通じて設置促進に取り組んでおり、期限に向けて努力する。



一般質問
沢田 国夫 議員
(創造みらい)

小一プロブレムについて

質問 市内小学校一年生のクラスにおいて授業崩壊といった小一プロブレムはないか。また今後のためにも幼・保・小、三者の協力体制を強化し、低学年教育の拡充を図るべきと思うがどうか。

答弁 現在は差し追った問題はないが、今後、各種支援プログラムを有効利用し、就学前の教育・保育の在り方を一体的に論議し、年内に本市にふさわしい方向性を示す予定である。

湧水復活事業について

質問 湧水再生研究調査事業が行われているが、これまでの実績評価をどう見ているのか。湧水復活と地下水保全とは本市の大きな課題であり、具体策の実行が待たれるがどうか。

答弁 調査としては観測井等の新たな設置により真名川の水量との関係を着実につかんでいきたい。実行策としては木本扇状地での涵養面積を拡大し、その影響を見ていきたい。最重要策として赤根川への地下水流入をくい止めるための環境堰の建設については、今後、事業主体や建設費用の捻出等について協議していく必要があると考えている。

発電所売却について

質問 県が所有する発電所七施設を来年三月末までに北陸電力に売却することがほぼ決定されたが、本市とのかわりはどうなるのか。上流の水源を利用している民間事業者となるため、大野市としても深くかわる必要があるのでは。

答弁 県は七十二億二千五百万円で売却を決定し、土地・建造物および水利権を北陸電力に譲渡するが、河川維持用水・灌漑用水はこれまでどおり確保する。これまでの交付金については、名目が変わり固定資産税として本市に入る予定であるが、詳細については、今後、県と調整していく。

単身高齢者用緊急通報装置について

質問 使いやすい単身高齢者用緊急通報装置の存在をもっと積極的に広めよ。

答弁 千五百人の対象者のうち、百六人に対して無料貸し出しをしているが、今後、機器の普及促進を図っていきたい。





一般質問
高岡 和行 議員
(清新会)

政治姿勢について

質問 教育理念について、新教育長の思いは。市民に対してどのように浸透させていくのか。また教育の場での活用は。

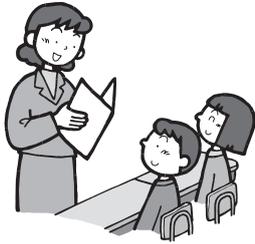
答弁 素晴らしいもので、高く評価している。策定までの経緯、意図、解説などをまとめた小冊子を策定・配布し市民の理解を得たい。

質問 市の文化・芸術・音楽・スポーツの現状と今後の方向性は。

答弁 感性豊かな人づくりには非常に大事なことを考える。限られた予算の中で、最大限効果が上げられるよう努力したい。

質問 新教育基本法が推進されているが、小中学生の学校教育は順調か。

答弁 新学習指導要領により追加となった内容が授業公開されて、研究会も行われ、実施に向け着実に実践を重ねている。



質問 教員免許更新制度の内容について聞きたい。

答弁 本年四月から実施されているもので、教員として必要な資質・能力・知識・技能を身につけるものである。

質問 小中学校でのいじめ、暴力、不登校などの問題行動については。

答弁 問題行動児童生徒に対して、今後とも学校・家庭・地域・市職員一丸で対処していく。

少子化対策について

質問 大野市における少子化対策は。

答弁 本市では「元氣なまち」「子や孫に誇れるまち」の実現にさまざまな施策、支援センター等の拡充、若者出会い交流応援事業、就学前までの医療費の無料化等、人口流出のための企業誘致、インフラ整備、安心して出産・育児ができる環境整備に対して全庁体制で取り組んでいく。中核病院連携でのセーフティネットを確立していく。

地域活性化について

質問 「地域活性化プレミアム商品券」の経済効果は。

答弁 販売方法に問題があったのか二五割売れ残っている。しかしながら、消費拡大には一定の効果があつたと感じている。今後、さらに販売強化をしていきたい。



一般質問
浦井 智治 議員
(日本共産党)

経済危機対策について

質問 政府の経済危機対策は、(一)総額十五兆円が先にありきの浪費とバラマキ、(二)大企業、大資産家への大盤振る舞い、(三)国民向けは一時的、(四)最後は消費税で穴埋め、という内容になっている。これで果たして内需の拡大・景気の拡大につながると考えるか。

答弁 景気後退による経済と雇用への打撃は地方ほど深刻で、厳しい雇用情勢にある大野市にとって、今回の経済対策は時宜を得たものである。また、今回の経済対策の中には、地方公共団体への配慮として、地域活性化・経済危機対策臨時交付金一兆円、地域活性化・公共投資臨時交付金一兆三千七百九十億円が盛り込まれている。厳しい財政状況が続く中で、さまざまな課題を抱える自治体にとって、この補正予算は有意義である。



と思っている。

国民健康保険行政について

質問 厚生労働省の通知で、国民健康保険被保険者証を取り上げ(資格証明書発行)されている人から、病気になるたとき、医療費の一時払いが困難である旨の申し出があつた場合は、保険料を納付することができない特別な事情に準ずる状況であると見え、速やかに短期被保険者証を交付することができるとしている。大野市は、この通知の精神を守って運用しているか。

答弁 大野市においては、資格証明書世帯で医療を必要とし、医療費の一時払いが困難であると申し出た方には、生活の状況や所得状況を確認し、短期被保険者証の交付を行っている。



学びの里「めいりん」の床破損について

質問 床破損の湿気の発生原因についての調査結果はどうか。

答弁 床下の床暖房配管からの漏れは認められなかった。現在のところ、原因を特定できていない状態である。今後も引き続き、床下に結露が発生しないか注意・監視を行っていく。



一般質問
松田 信子 議員
(新国会)

第五次大野市総合計画について

質問 計画では、平成二十三年度から十年間を計画期間として策定するとある。第四次の進捗状況の検証と成果および今後の計画は。

答弁 本年二月に計画策定のための全庁的なワーキンググループを立ち上げ作業準備に入った。
二十一年度は人口動態や産業構造などの各種社会指標を基に将来予測や各種基礎調査を行う。十八歳以上の市民や次代を担う中学生、高校生、大野市出身の方を対象とした意識調査を実施し、住民ニーズや将来の大野に対する思いを的確に把握することとする。

さらに、現在進行中の第四次大野市総合計画「越前おおの元気プラン」は各施策の進捗状況の把握や検証を行うとともに、策定委員会および幹事会を構築し基本構想の骨子案をまとめる。二十二年度は骨子案に肉付けし基本構想を策定したい。

教育理念について

質問 具現化していくキーワードをどこに置くのか。

答弁 具現化のキーワードは「ふるさと」「地域参加」の二つ。体験尊重の教育の考え方を大切にしたい。

質問 教育理念を理解するための手引書の活用と公表時期は。

答弁 七月中に各学校教育関係者、社会教育、文化・スポーツ関係者等に配布予定。理念の理解を深めていく。

越前おおの結ステーションについて

質問 廊下式物品販売所のうち固定式物産販売所の公募の時期、規則、選定の方法は。

答弁 この販売所は農林産物の生産拡大や商品開発につながるアンテナショップの機能を持つ販売施設にしたい。販売事業者を公募、プロポーザル方式で決定し、来年四月供用開始を予定。

質問 廊下式物品販売所のうち物品販売スペースの出店者募集の方法は。

答弁 物品販売スペースは対面式で、農産物の直売所やフリーマーケットとして農業者、農業団体などの販売グループ、障害者施設や市民へ期限を定めて有料で貸し出したい。



一般質問
山本 鐵夫 議員
(清新会)

農林楽舎によるシバザクラ苗栽培について

質問 最終栽培ポット数は。産地と競合し、地元の活動の後退を危惧するが。

答弁 シバザクラの取り組みを市全域に広め、本市の景観とブランド力を高めるために行うものであり、ひいては都市部との交流促進や農林産物の販路拡大につなげていくことを目的として実施する。中部縦貫自動車道のり面にシバザクラを使えないか国にも提案している。環境調和型農業の象徴にしたいと考える。乾側地区の花のジュエータン実行委員会のご協力・ご指導を得ながら、連携した取り組みを行ってまいりたい。本年度は五万ポットを目標に育てる。

消費者相談の受付体制について

質問 相談員と、プライバシー保護の相談室は。資質向上策は。

答弁 本年五月より専門嘱託相談員を一人配置し、資質向上を図るため研修に参加させている。市民に信頼される

相談窓口となることを目標として国民生活センターが行う研修などにも派遣する予定である。また全国の事例を調べられるシステムを本年度中に導入する予定である。相談者のプライバシーに配慮し、安心して相談できる環境整備にも努めていく。

県内主要観光地と連携した観光振興について

質問 恐竜博物館来館者の大野市への誘客は。主要観光地との連携は。

答弁 恐竜博物館でまちなか観光チャシの配布、六呂師への周遊ルートの常設的な設置をしたところである。今後とも永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡など隣接観光地との連携した取り組み、旅行商品の開発に積極的に働きかけたい。

下庄小学校校舎改築工事について

質問 小学校の構造、教室数は。完成時期は。仮校舎の児童への思いやりは。

答弁 議会に対し説明が不十分であり、適切な機会に適切な資料にて説明すべきであったと反省している。

鉄筋コンクリート三階建て、七百十三坪。普通教室が七つ、特別支援教室が二つ、その他特別教室がある。完成は来年三月二十五日となる。仮設校舎は体育館南側に建設され、軽量鉄骨造り平屋建て、一教室は六十五平方メートルで十分な広さが確保できる。



一般質問
谷口 治衛 議員
(創造みらい)

全国学力テストの結果について

質問 学校別の成績を公表する予定はないのか。

答弁 公表する考えはない。公表することにより、いたずらに学校間の序列化を招き、保護者の不安を増長することにつながる恐れがある。担任教師に対する個人攻撃といった問題も起きていると聞く。

子供のコミュニケーション能力について

質問 携帯電話などを使うことにより、小中学生のコミュニケーション能力が育たないのではないか。

答弁 携帯電話の功罪に関しては常日頃より考えている。伝え合う力、学び合う力、高め合う力の育成を掲げ、相手を意識して話す・聞く授業づくり、人のかかわり合い方を学ぶライフスキル等の



充実を最重点課題にしている。

越前おおの型教育について

質問 地域社会との連携をとり、大野市独自の教育方針を考えるべきではないか。

答弁 地域の専門的な知識や技能を有する方との触れ合いや児童生徒が地域の中で福祉や農業の体験をする授業も行っている。教育理念を教育の基盤とし、大野出身の人は素晴らしいといわれるような教育をしていきたい。

官民連携による街中の活性化について

質問 来訪者の滞在時間を延ばすために、市内の商店や旅館を利用した人向けに大野市の文化施設の無料入場券を発行することはできないか。

答弁 施設管理費などのこともあり、現時点では行政の方から積極的に動くことは慎重にと考えている。

官民の協働と住民自治について

質問 市民も行政と共に自治について考えるために、事業のコストを関係地区に示せないか。

答弁 市民一人一人が自分たちの地域のこと自分たちで考え、よくしていくという考えが浸透するために、市と市民との役割分担を考えながら、費やしたコストについても示していきたい。



一般質問
榮 正夫 議員
(日本共産党)

経済危機と政治の責任の認識について

質問 世界の経済危機が日本を襲い小泉「構造改革」により「国民の暮らしを守る装置」が機能しない現在の政治の責任は。

答弁 国において追加経済対策十三・九兆円を予算補正し、その効果があがると思う。

大野市は「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」や「地域活性化・公共投資臨時交付金」等の活用で経済を立て直したい。また都市と地方の格差が大きくその解消のため中部縦貫自動車道や国道一五八号の改良が大切で最大限努力していきたい。

政治の役割についての一つは、国政、地方政治を問わず国民・住



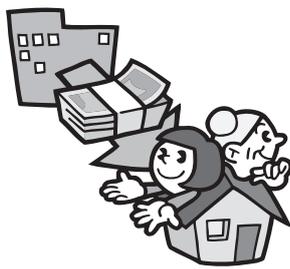
民の生命財産を守ること、もう一つは、国民・住民に希望を与えていくこと。その時代の環境や経済環境を見極め最良のものを選択していくのも政治の務めであると考えている。

生活保護行政について

質問 生活保護制度は、生活に困ったら、誰でも「生活保護」を受けられる権利を保障している制度である。しかし「保護の補足性」の原理の解釈で、福祉事務所と利用者の違いが問題になる。「生活保護のしおり」を作成し、説明不足や誤解と偏見を解くべきでないか。

答弁 生活保護制度は、能力・資産を活用してもなお生活に困窮するすべての国民に、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする大切な制度である。

本市では、国・県の方針を受け、生活保護業務実施方針を定めている。「生活保護の相談」を受けると、世帯の収入状況や保有する資産の調査、稼働能力の有無などについて審査を行うことになり、時には認定が困難な事例も出てくる。「生活保護のしおり」については検討したい。





一般質問
石塚 淳子 議員
(創造みらい)

新型コロナウイルスについて

質問 治療薬、検査キット、マスク等の備蓄については。

答弁 県において、備蓄計画に基づき約二十五万人分の抗インフルエンザ薬を確保しており、市は県に対して適宜協力を要請していく。検査キットについては、備蓄はないが、市の医療機関である各診療所で例年より多くの検査キットの確保に努めた。マスクは、現在のとこ五二千二百枚余り、消毒剤は、各公共施設三十二カ所に六十八本設置して、市民の皆さまに消毒をお願いしている。

質問 感染が確認された市民の方の受け入れ体制は。

また何床あるのか、満杯になった場合はどうするのか。

答弁 福井県立病院や福井社会保険病院など、県内六カ所の感



染症医療機関で入院加療を受けることになる。その指定医療機関では現在計二十床であるが、満杯になった場合は結核病床を有する医療機関で入院加療を受けことになる。そういった所も満杯になれば、蔓延期に入っているため、市内の医療機関全部が治療体制に入ることになる。

質問 新型コロナウイルス対応業務継続計画の進捗状況については。

答弁 職員の欠勤率を四〇割と想定し、優先する主要業務の抽出とその継続、新型コロナウイルス対応可能人員を明記し、本年五月に策定している。

ウイルス性肝炎対策について

質問 市民に対する正しい知識の普及と理解については。

答弁 患者や家族がいわれない差別を受けている現実もあるので、ホームページや広報誌を活用し、より一層の肝炎の正しい知識と理解の普及に努める。

質問 基本健診において肝炎検査を無料にできないか。

答弁 受検実績が少ないため、現在のところは無料ということは考えてないが、病気の早期発見と早期治療が行われるよう、無料肝炎ウイルス検査ができる実施医療機関の周知を図り、多くの方に検査を受けていただけるよう情報提供に努める。

請願

▼「非核日本宣言」を求める意見書採択についての請願

提出日 平成二十一年五月二十九日
提出者 原水爆禁止国民平和実行進・世界大会福井県実行委員会
代表委員 平澤 孝 外三名
紹介議員 浦井智治議員
審議結果 継続審査

陳情

▼「食料・農業・農村政策に関する陳情書」

提出日 平成二十一年六月一日
提出者 テラル越前農業協同組合
代表理事組合長 西川文人 外一名
審議結果 採択

▼「猿・猪・鹿・カメムシなど鳥獣害等対策に関する陳情書」

提出日 平成二十一年六月一日
提出者 福井県農政連大野支部
支部長 片山嘉男
審議結果 採択

人事案件

▼農業委員会委員に小林氏ら三名を議会推薦

農業委員会委員の任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律に基づき、小林幸子氏(牛ヶ原・再任)、廣田英子氏(野中・再任)、久保田真由美氏(貝皿・新任)の三名を議会から推薦することに決しました。

臨時市議会を開催

第三六二回臨時市議会が五月二十九日に開会され、議案第四十四号および第四十五号を可決しました。

議案第四十四号「大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」では、市長、副市長、教育長、市職員、市議会議員の本年六月の期末手当等が、人事院勧告に準じて減額して支給されることとなりました。

また、議案第四十五号「下庄小学校北校舎改築工事請負契約の締結について」では、下庄小学校北校舎の解体および改築等に係る工事一式について、入札落札者との契約締結が認められました。

なお、三六四回臨時市議会が、七月二十二日に開催されました。審議結果等につきましては、次回お知らせします。



平成21年6月第363回定例会 議案等の審議結果および各議員表決

議員名（議席番号順）		議決結果	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	鳥口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
議案番号・議案名等																						
市長提出議案	46 平成21年度大野市一般会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
	50 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	51 平成21年度大野市一般会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案	52 大野市農村公園設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 農業委員会委員の推薦について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 食料・農業・農村政策に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 地方分権時代に即した県と市町のあり方に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	1 「『非核日本宣言』を求める意見書」採択についての請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	1 食料・農業・農村政策に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 猿・猪・鹿・カメシなど鳥獣害等対策に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成21年5月第362回臨時会 議案等の審議結果および各議員表決

議員名（議席番号順）		議決結果	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	鳥口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
議案番号・議案名等																						
議案	44 大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	45 下庄小学校北校舎改築工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（○：賛成、×：反対、－：欠席、除斥等による不参加。議長（砂子三郎氏）は表決に加わらないので「/」で表示）

意見書

定例会最終日に、議員から「食料・農業・農村政策に関する意見書」等、二件の意見書が市会案として提出され、いずれも可決されました。各意見書の概要は次のとおりです。

▼「食料・農業・農村政策に関する意見書」

この意見書は、農と食をめぐる課題、米の過剰生産、生産調整にかかわる不公平感など、直面する農業問題の解消を目指して、政府関係機関等に対して、各種農業施策、国際農業交渉、農地制度、農業被害対策等について、将来とも農業者が自信と誇りを持って農業にいそしみ、次世代につなげていける政策の構築を要請するものです。

▼「地方分権時代に即した県と市町のあり方に関する意見書」

現在、地方が主役の国づくりを目指して、第二期の地方分権改革が進められており、県と市町はそれぞれに課せられた役割と責務を果たすため、協働して政策決定ができるよう努めなければなりません。そのような中、県は地域住民に密接に関係する政策や行政課題の解決等において、多くの責務を有している市町に対しての事前の説明や協議が不十分なように感じられることから、今後、県が地域住民の生活に密接に関係する事業を推進するに当たっては、事前に、地域住民や市町に方針や考え方を示し、住民・市町の考え方や要望等を十分組み入れるための協議を重ね、理解を得ながら進めるよう県に對し要請するものです。



常任委員会審査

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。



産経建設常任委員会

Q 橋梁長寿命化修繕計画策定のための詳細点検の対象となる橋梁とは。

A 市が管理する橋長十五以上の橋梁九十一基が対象であるが、そのうち、緊急に調査を要する五十基程度を今回調査する予定である。

橋の対応年数は、五十年から六十年といわれているが、現在、市が管理する橋梁のうち、建設から三十年以上経過しているもの等、約五十基について調査するものである。

Q 城まつりを盛り上げるために御輿四基、法被四百着を製作することとあるが、どのように活用するのか。

A 二十二年度の城まつりから、市内



中学校の校区ごとの住民に、御輿を各一基かついでもらい、まちなかをねり歩いていただく予定である。法被は、御輿をかつぐときに着てもらい、各校区ごとで違ったデザインとしたい。詳細については、今後、城まつり実行委員会と協議していただく。

民生環境常任委員会

Q 地域医療推進対策事業で実施するアンケートの目的は。

A 国においては医療制度改革として、これまでの病院等での医療から在宅での医療へ方向転換することを目指している。そのことを受けて、在宅医療を中心とする今後の地域医療の在り方を検討するために実施するものである。

Q 保育所職員資質向上研修事業の内容は。

A 国の保育所保育指針の趣旨の徹底を図るため、県が企画した保育所保育指針研修会に参加するものである。市内公立・民間のすべての保育所職員を対象に二年にわたって行う。

Q 高齢者・障害者移動支援環境整備事業の具体的内容は。

A 階段の上り下りを苦痛に感じている方々にも気軽に温浴施設へ有効活用していただけるよう、エレベ

ーター等が設置されていない「うらら館」と「パークホテル」に階段昇降機を一台ずつ設置する。

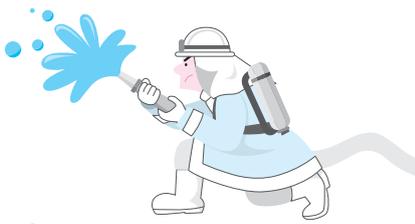
総務文教常任委員会

Q スポーツ大好きっ子育成事業の内容を聞きたい。

A 運動習慣を持たない児童に、さまざまなスポーツ体験を通し、体を動かす喜びを味わう機会を設けるために体育用備品等を購入する県補助事業で、本年度は、蕨生小学校で実施する。来年度以降も事業が継続されれば、他校でも実施したい。

Q 火災発生時における消防水利は確保されているのか。

A 防火水槽については、消防水利の不備な地区があるので、区長等の協力を得ながら整備に努めている。火災現場が消防水利から離れている場合は、中継のポンプ車を何台も投入するなど現場に応じて対応しており、まったく火災防衛ができない場所はない。



トピックス

シリーズ 議会改革の取り組み②

▼これまでの議会改革

前号で設置の趣旨等を説明しました「議会等改革特別委員会」では、全議員理解のもと、「できることから実行に移す」ということを基本的に議論が進められ、この議論を基に、これまでにいくつかの改革を実現させています。

本会議等の充実に関して

- ▽本会議場への質問席設置
- ▽理事者への議員に対する反問権付与
- ▽議会ホームページの充実等事前広報の拡充
- ▽定例市議会の繰上げ招集を可能とするための定例会招集規則の一部改正

議会の発行・作成に関して

- ▽議員による議会だより編集委員会の設置

議会だよりの充実

- ▽議会の監視・チェック機能の強化に関して
- ▽議員全員に対する当初予算案に関する説明会の開催

議会内の連携充実に関して

- ▽定例市議会開催月以外における議員全員協議会の開催

議会情報の透明化に関して

- ▽政務調査費マニュアルの策定
- ▽議事録作成支援システムの導入

委員会報告

各委員会における協議事項・意見・要望等の趣旨について、それぞれの委員長からの報告は次のとおりです。

●産経建設常任委員会

○御輿（みこし）について

越前大野城築城四百三十年祭を機に製作予定の御輿を、新たな目玉として城まつりを大いに盛り上げられたい。またまつり期間以外でも、市民や観光客が御輿を見学できる施設の整備を検討願いたい。

○公共交通体系について

本年十月から、越前おおの地域公共交通総合連携計画に基づく、新たな交通体系による試行運転が開始されるが、さらなる利便性の向上を目指し、路線等について再度吟味願いたい。

●民生環境常任委員会

○住民基本台帳カードについて

証明書自動交付機で、休日や夜間でも住民票等の交付を受けられることができる利便性を知らない

い市民が多いようなので、あらゆる手段を講じて普及率向上に努められたい。

○火災予防安全安心対策事業について

市民税非課税の高齢者のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器の設置を行う経費が計上されているが、来年度以降も継続して実施し、すべての対象世帯の設置を促進されたい。

●総務文教常任委員会

○地域産業の振興について

地域活性化・経済危機対策臨時交付金による事業効果を大いに期待する。地元経済の振興・地元産業の育成を念頭においた発注と、迅速かつ公正な執行を強く望む。

○大野市教育理念について

教育理念が全市民に理解され親しまれる精神的な支柱になり、未来の大野市を担う人づくりに十分な成果が発揮されるよう手引書を有効に活用されたい。

また幼稚園や保育園の時期は社会の基本的なルールやしつけを学び、人格形成に大きな影響を与える重要な時期なので、地域や家庭との連携を密にした教育・指導に留意願いたい。

●中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会

中部縦貫自動車道の勝山・大野間は、二十四年度に暫定二車線で供用が開始される。大野油坂道路は、全長三十二キロメートルのうち大野東から和泉間の十四キロメートルが、三月十三日に事業化決定。

国道一五八号の境寺・計石間については、具体的な計画に至っていない。また国道一五七号大野バイパスは、二十四年度には暫定二車線で供用することをめどに、本年度は中保・吉間の

用地買収に着手することである。

当委員会としては、所期の目的達成のため、積極的に支援をしていく。

●議会等改革特別委員会

本定例会では、特に議会の議決事件の拡充、市長の専決に関する指定議決について論議を行った。今後、本市における実情等を考慮しながら、さらに踏み込んだ論議を進め、議員からの提案を得ながら、委員会として

集約し結論を見出したい。

また第六次行政改革大綱の策定に当たっては、評価制度の在り方を含め、市が元気づく計画に向けて、議会としての意見を集約したい。



議 会 日 誌

- ◆4月
 - 27日 議会運営委員会、議員全員協議会
 - 28日 富山県東部議会議長協議会行政視察来訪
- ◆5月
 - 19日 議会等改革特別委員会
 - 27日～28日 全国市議会議長会総会（東京都）
 - 29日 第362回臨時市議会
- ◆6月
 - 1日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
 - 8日～24日 第363回定例市議会
 - 13日 中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会総会、同整備促進大会（勝山市）
 - 17日 全国過疎地域自立促進連盟理事会（東京都）
- ◆7月
 - 4日 県後期高齢者医療広域連合議会（福井市）
 - 7日 宮城県名取市行政視察来訪
 - 9日 全国森林環境税創設促進議員連盟役員会、同総会（長野県松本市）
 - 香川県三豊市行政視察来訪
 - 13日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
 - 16日 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会総会（東京都）
 - 22日 第364回臨時市議会

編集後記

議員による編集委員会で「議会だより」を編集し始めてから、2回目の「議会だより」をお届けします。議会の情報をできるだけ公開し、住民の皆さまに読みやすく、わかりやすい「議会だより」になるよう編集委員会一同頑張っています。皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

議会だより編集委員会

委員 浦井智治

石塚淳子

宮澤秀樹

松田信子

